



わたなべ 芳
渡辺よし

くに県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

国策800円化へ社会実験

東京湾
アクア
ライン

木更津集
木特

6月県議会一般質問

この中で渡辺県議は、アクアラインの料金八百円化に道筋がつけられようとしている現状を評価しながらも、地元市として交通量の増大に伴う交通渋滞など、受け皿づくりの準備不足も厳しく指摘しました。渡辺県議は、ほかにも日本でもカジノ導入を検討すべきなどの新たな提案を行い、注目をされました。主な質疑を1、2面で特集しました。

房総の中核都市・木更津市の明日を拓く一を掲げ、二期目の県議活動と地元地域づくりに真正面から取り組む渡辺芳邦(わたなべ・よしくに)県議は、六月県議会の一般質問に再び登壇し、東京湾アクアラインの料金値下げ問題を中心に、森田健作新知事の考えをたどりました。



本会 議場の壇上から森田知事に質問する渡辺芳邦県議

受人準備不足解消へ、早急な対応を要望

しているところ。南房総の商工関係者のほとんどが八百円化に賛成ですが、交通渋滞など道路の整備不足や受け皿づくりの準備不足からくる不安もあるようです。なぜ、今の時期に社会実験をしなければならないのか、その理由を確認したい。

森田知事 今回の社会実験は、国の生活対策に合わせて平成二十三年三月まで行うこととしています。その後、八百円化を実現するためには、できるだけ多くのデータ

総合高速バス

ターミナル構想の実現へ

渡辺委員 平成十六年度における総合高速バスターミナル基本構想の実現は、地域の活性化や金田地区のために必要だと思いがどうか。

総合企画部長 平成十六年度の調査は、国、県及び木更津市等をメンバーとし、金田地区土地区画整理事業の土地利用促進に向けての中核的機能を担う施設として、総合バスターミナルに関し検討したものであり、この実現化により、金田地区ににぎわいを創出するとともに、土地利用の促進が期待されるとしています。

なお、この構想を実現していくためには、用地の確保と事業主の決定が課題だと

渡辺よしくに県議プロフィール

経歴

昭和39年	木更津市長須賀に渡辺二夫・朱美の長男として生まれる
昭和55年	木更津第三中学校卒業
昭和58年	千葉県立木更津高等学校卒業
昭和62年	日本大学 理工学部 建築学科卒業
平成5年	木更津商工会議所青年部 第37代部長
平成10年	(社)かずさ青年会議所 第33代理事長
平成12年	(社)日本青年会議所 関東地区千葉ブロック協議会会長
平成13年	(社)日本青年会議所 特別委員長
平成17年3月	千葉県議会議員補欠選挙で木更津市選挙区より当選
平成19年4月	千葉県議会議員選挙で木更津市選挙区より当選(2期目)

●会社経営に携わる一方、ボランティア団体を通じて各種のまちづくり活動を展開する。かずさ音楽祭実行委員長を歴任。2002年にはかずさ四市合併の住民発議の事務局を、2003年に「気志園万博2003」の地元受入窓口として12団体に組織された「かずさプロモーション委員会」の事務局長を務めた。

現職

- 総合企画水道常任委員会委員
- 議会史編さん及び議会図書室運営委員会委員
- 自民党千葉県連青年部部長
- 地方港湾審議会委員

木更津市や県政のご相談、ご要望をお寄せ下さい

渡辺よしくに県議事務所

〒292-0838

木更津市潮浜1-17-58

TEL.0438-23-4492

ホームページでも活動・実績などを紹介しています <http://www.4492.jp/>

国際観光施策としての カジノ・エンターテインメント検討の提言

—木更津市特集—
6月県議会一般質問



自席から再質問する渡辺県議

県「国の動向注視」と答弁

渡辺議員 現在カジノは、世界の八十以上の国に存在しています。カジノを中心に、ホテル、商業施設、国際会議場に加え、ミュージアム等もあり、複合施設として存在し、日本でもそんなカジノの合法化に向けた取り組みが進んでいます。

自民党本部では、政務調査会の中に小委員会が設置され、日本にはない観光資源として、雇用増、税収増、地域開発を目的とする

カジノ・エンターテインメントの実現に向け、活動しています。

県は、こうした各国の国際観光施策の現状をどのように捉えているのか。

県労働部長 カジノはヨーロッパやアメリカをはじめ、アジアでもマカオ、韓国など多くの国で開設されています。

アメリカのラスベガスでは、カジノ、エンターテインメント、コンベンションを中

心とした大規模集積型の観光拠点として発展し、二〇〇八年には世界各国から三千七百万人もの人々が訪れています。

カジノはそれぞれの国において、世界から多くの人々が訪れる観光資源として、大きな役割を果たしているものと認識しています。

渡辺議員 観光立県を掲げる一方、成田国際空港を抱える本県の立地条件を踏まえ、県は導入に向けて真

羽田再拡張で 航空機騒音が拡大

渡辺議員 羽田空港再拡張事業は着々と進められており、来年十月の供用後は、発着回数がさらに十萬回増加する中で、相変わらず北風時には、多くの着陸機が本更津上空を飛行することが明らかになっています。つまり、本更津市は再拡張後も県内で最も羽田の航空機騒音を受けることになり、市民は大きな懸念を抱えています。

そこで、伺います。本更津市の航空機騒音の現状はどうか。

環境生活部長 羽田空港へ着陸する航空機騒音の影響を把握するため、本更津市では県が二カ所、市が一カ所、で常時監視を行っています。

平成十九年度の監視結果を「うるさき指数」でみると、畑沢で68・6、貝渕で66・6、大久保で65・2といずれも環境基準を下回っています。

しかしながら、再拡張工事に伴って、C滑走路への着陸制限により、A滑走路への着陸回数が増加したため、このコース下の畑沢では、十九年十一月から二十年一月までの月平均指数が70を超えており、航空機騒音による影響が大きくなっていると認識しています。

渡辺議員 再拡張後の航空機騒音への対応について、県はどのように取り組んでいるのか。

総合企画部長 本更津市への対応は、「航空機の降下開始高度を現行の三千フィートから、千ないし二千フィート引き下げることで」「天気の良いときは、本更津上空からの飛行ルートとともに、新たに設定する『富津沖の海上ルート』も利用すること』といった騒音軽減策が取られることとなっています。

要望 飛行ルートについて、できるだけ「富津沖ルート」を使用し、本更津上空を回避するよう強く願います。

港湾計画改定案を諮問へ

渡辺議員 本更津港湾計画の改訂について、地元と調整している課題とその対応状況はどうか。

県土整備部長 本更津港湾計画は、港の効率的な利用・緑地の整備・木材港埋立て計画の中止等に対応した計画とするため、現在改定作業を行っているところです。地元との調整の主な課題は、砂利運搬船等を収容する船だまりの形状や、残る木材貯木施設の利用方法などであり、現在、砂利運搬船事業者の組合や本更津木材港団地協同組合等と最終的な協議を行っているところです。

渡辺議員 改定に向けた作業の進捗状況及び計画の目標年次はいつ頃を設定しているのか。

県土整備部長 同計画については、改定の原案を作成するため、学識経験者、港湾関係者、関係行政機関職員らによる「本更津港湾計画策定検討委員会」を平成二十年度に設置し、二回の委員会を開催したところです。今後、早期に関係者の同意を得て、今年度中に千葉県地方港湾審議会等に改定案を諮りたいと考えています。計画の目標年次は、平成三十年代前半としています。

要望 現在の計画は、二、三十年近くが経過し、いまだ完成には程遠い状況にあります。絵に描いたもちにならないよう、改定に向けて内容を精査されたい。

明日を拓く
スクラム宣言
渡辺よくに
邦に県議